SCA NEWS
VOL-25 NO.６
２００５年11月
(通巻２００号)
埼玉県ｻｲｸﾘﾝｸﾞ協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和地方庁舎別館
TEL/FAX 048-824-2711 E-mail sca_mailjp@yahoo.co.jp
ＵＲＬ http://sca.cool.ne.jp/

第４回ハーフセンチュリー大会終わる

第４回ハーフセンチュリーランが10月30日､行田サイクリングセンターを主会場として116名(エントリーは140名）が参加して開催された。８時から受付・車検が、８時20分から開会式に続いて、８時30分から10名ずつ２分間隔でスタートした。朝のうちは少し寒かったが、スタートが終わるころには暖かくなり、絶好のセンチュリー日和となった。

毎回のことだが、本部電話がなると、役員に一瞬緊張が走る。事故の電話がないことを祈りつつ、チェックポイントからの報告を受ける。今回も何事もなく時間が経過していった。

10時30分には最初の走者がゴールする。気温もたいしてあがらず走りよかったようだ。早々とゴールした人の中には、大会のお手伝いをしてくれる人もいて、和やかな雰囲気であった。

今回も、トラブルなく大会を終了することができた。毎回、会場となる行田センターの方や駐車場を提供していただいている大沢建設の方々、役員各位、また参加者の皆さんに大変感謝している。

大 会 概 要

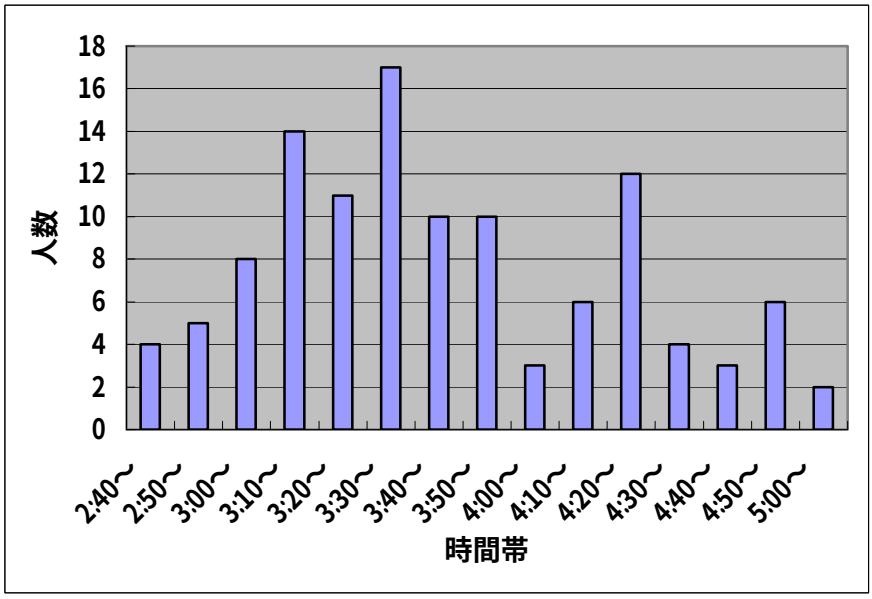
参加申込　140名

参加受付　116名

出　　走　116名

完　　走　115名

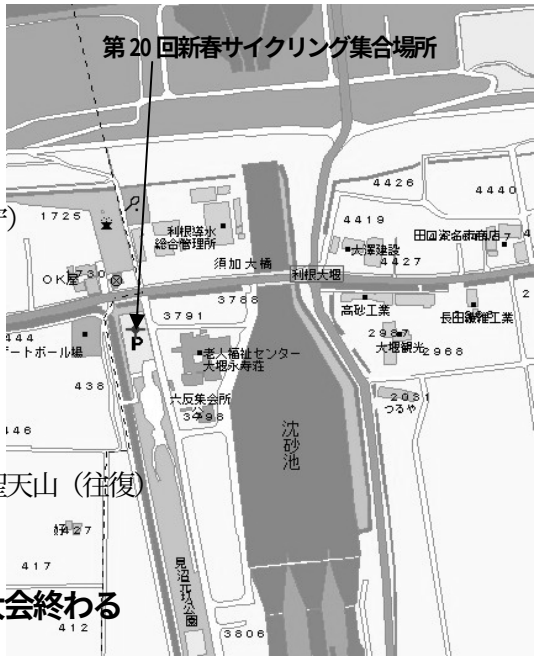
時間帯	人数
2:40～	4
2:50～	5
3:00～	8
3:10～	14
3:20～	11
3:30～	17
3:40～	10
3:50～	10
4:00～	3
4:10～	6
4:20～	12
4:30～	4
4:40～	3
4:50～	6
5:00～	2



＜協会イベント案内＞

◆年末懇親会

日　　時　平成17年12月10日（土）18時～20時
会　　場　北浦和周辺
会　　費　4,000円
申　　込　平成17年11月30日（水）迄に事務局まで（期日厳守）
そ の 他　参加の方には後日詳細を案内します。



◆第20回新春サイクリング

新年の走り始めの気軽なサイクリングです。

日　　時　平成18年１月15日（日）10時～
集　　合　見沼元圦（もといり）公園駐車場（行田市）
コ ー ス　見沼元圦公園～利根川自転車道～刀水橋～妻沼・聖天山（往復）
申　　込　平成17年12月21日（水）迄に事務局まで

★第41回関東甲信越ブロックサイクリングラリー東京大会終わる

第41回関東甲信越ブロックサイクリングラリーに参加して

10月８日(土)竹芝桟橋を22時予定通り、かめりあ丸が大島に向け出港。９日(土)５時、岡田港に到着、セミナーハウスにバスで移動。あいにくの雨模様、入所式、朝食の後、雨の中を出走する組、観光バス組、レンタカー組と思い思いに出発。

伊豆大島は一周約48㎞の島で、時計回りで走ると先ずは「波浮港」、「地層切断面」、「火山博物館」、「ぱら・らめーる」、「元町港」、「御神火温泉」、「大島空港」、「ぶらっとハウス」、「岡田港」、「椿資料館」、「裏砂漠」、「筆島・オタイネの碑」と見所が続く。

特に「火山博物館」は、世界の火山の歴史と写真・ビデオ（爆発や火砕流の記録）そして、日本の主な火山の立体写真(覗き式で火山全体を火口の奥までリアルに表現)等一見の価値有り。更に「ぱら・らめーる」は、世界の貝の博物館でわずか１㎜程度の大きさの貝から、ほら貝、おおむ貝迄、貝によってはペイントしたのではと疑いたくなるほど、色の種類の有るのに驚かされる。

17時セミナーハウスで記念式典、今大会は東京サイクリング協会設立50周年・大島町町制施行50周年記念大会を兼ねているため、それぞれの関係者からの挨拶の後、多数回参加者等表彰があり解散。各宿舎毎夕食（セルフ・お酒は記念式典会場出口で特別販売)、20時から交歓会が始まった。アトラクションは御神火太鼓（八丈系)。やはり太鼓はいい、鼓動・掠動感、しびれた一瞬であった。この後挨拶、鏡開き、乾杯懇談会と続く。

10日(３日目も雨)、朝食後８：30閉会式、さすがに走る人は減少、路線バス等で元町港に向かった。元町で散策（一部のバスは岡田港に直行)。15：05岡田港を出港、19：30竹芝客船ターミナルで自由解散。

あいにくの雨の３日間では有ったが、それぞれの思い出を作れた、楽しい一時で有った。

原田　記

『お祝い』

この度、第59回全国レクリエーション東京大会で、渡邊理事長がレクリエーション運動普及振興功労者表彰を受けました。永年のレク活動が認められたものです。さらにレク・スポーツの振興に努力してください。

≦事務局だより≧

■お知らせ

年末・年始の休み：12月25日（土)～１月10日（火）

【編集後記】

中越地震から１年がたった。その後の様子を各マスコミが取材していたが、どんな厳しい環境になっても、故郷で過ごしたいという愛着に心打たれた。特に美味しいお米の産地の棚田は壊滅状態であった。私も栃尾の栗山沢を夏に訪ねたが、荒れ果てた田んぼが散在していた。それでも米を作ろうと、借金をして棚田の整備をして、米を作っている人たちが紹介されたが、米づくりに生きがいをかけている人々のたくましさを感じた。ただ若い人たちの姿が見られなかったのは少し寂しかった。別の番組で若者についての番組があったが、フリーターやニートは大人の責任だと決め付けている若者が結構いたのには驚いた。もっと自分を見直したらどうだろうか？

今年も、これでＳＣＡニュースの発行は終了する。２ヶ月に１回の発行だが、なるべく皆さんにホットなニュースをお届けしたいと努力している。まずは200号の発行をもって2005年は終わる。まだ早いですが皆さま良い年をお迎えください。来年は協会創立50周年の記念すべき年ですので、楽しいイベントを企画中です。